

1人当たり1日 約300リットル の水を使っています

お風呂 80L	トイレ 50L	炊事 40L	洗濯 35L 洗面 25L	家庭外 70L (学校、会社など)
---------	---------	--------	------------------	----------------------

出典：厚生労働省「いま知りたい水道－日本の水道を考える－」2023年3月

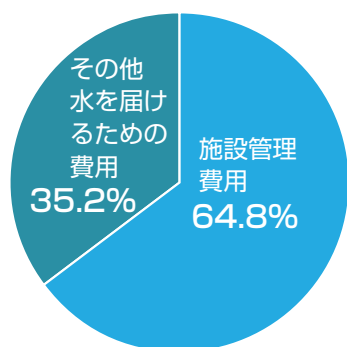
04

行田市の水 現状とみらい

なくてはならない水 でも、厳しい水事情

本市の水道は、普及率96.63パーセント（令和5年度末時点）で、毎日安全な水が家庭に届きます。市や県などの水道事業者は、水道法第1条の「清浄、豊富、低廉」な水の供給に努めています。誰でもいつでも水が使えるように、川や地下から水を集めて浄水し、水を送るための水道管などの施設の整備や、運営・管理をしています。しかし、**人口減少に伴う料金収入の減少、水道施設の老朽化、職員数の減少**などの課題に直面しており、水道を取り巻く状況は非常に厳しくなっています。

水道料金はどのように使われているの？



もっと知りたい水のこと

地下水はどこから来たの？

行田市の地下水の水源は赤城山系からのものといわれています。山々に降り注いだ雨や雪は長い時間をかけて地下深くまで浸透し地下水となります。

行田市の水は軟水？硬水？

本市の水道水の硬度の平均値は1リットル当たり70.14ミリグラムで中程度の軟水であり、厚生労働省が定めるおいしい水の要件を満たしています。軟水は硬水に比べ味にくせがなく、石けんもよく泡立ちます。

使った水は川に戻って本当？

私たちがトイレ、お風呂、台所などで使った水（生活排水）は、公共下水道や各家庭などで設置している浄化槽に流れ処理された後、川に放流されます。油や薬品は流さない、食べ残しや油污れなどはふき取るなど水をきれいに使いましょう。

▶問い合わせ

水道課 ☎ 553-0131



水を大切に
使いましょう

Point! 今後も安全で安心な水を供給するため
古くなった管路の更新を進めています



みんなで支払う水道料金

水道のサービスは誰がどれだけ受けているか特定されるため、受けるサービスの度合いに応じて水道料金として経費を負担する仕組み（受益者負担）になっています。本市の1カ月当たりの一般的な水道料金は3,069円です（□径13ミリメートルで月20立方メートル使用（一世帯当たりの一般的な水道使用量）で計算）。**水1リットル当たり約0.15円**です。この水道料金は施設の維持管理や古くなった水道管のメンテナンス、水をきれいにするための薬品代など、安全な水を安定して届けるために使われています。

行田市の未来のために

給水人口の減少により全体の使用水量が減る中、料金収入の減少も続いており、近い将来には、経営が成り立たなくなることが予測されています。また、昭和50年代に布設した多くの管路が法定耐用年数の40年を経過するため、それらの更新が必要となっています。これらの課題解決のため令和2年に26年間維持してきた水道料金の値上げを実施しました。安全で安心な水を継続してお届けする事業経営を行い、水道事業を次世代に引き継ぐために、水の運用の要となる向町浄水場内の装置更新や管路の耐震化などを進めています。併せて災害に強いライフラインの構築にも努めています。

03

水はどうやって届くの？

市の水道事業では、2つの浄水場と2つの配水場、そして14の水源井^{すいげんせい}を保有しています。浄水場では、地下200メートルにある水源井から汲み上げた地下水の浄水処理を行い、また向町浄水場、西部配水場、南河原浄水場の3施設では、県水（行田浄水場からの水）を受水しブレンドしています。本市の水道水は、下の配水区割りした地図のとおり、水道管を通して家庭に届けられます。



浄水 県水 貯水 配水

南河原浄水場

2カ所の水源井から汲み上げた地下水を浄水処理した水と県水を配水。

- 所在：馬見塚地内
- 配水開始：1996年9月
- 計画浄水量：1,760㎥ / 日
- 計画一日最大給水量：1,960㎥ / 日

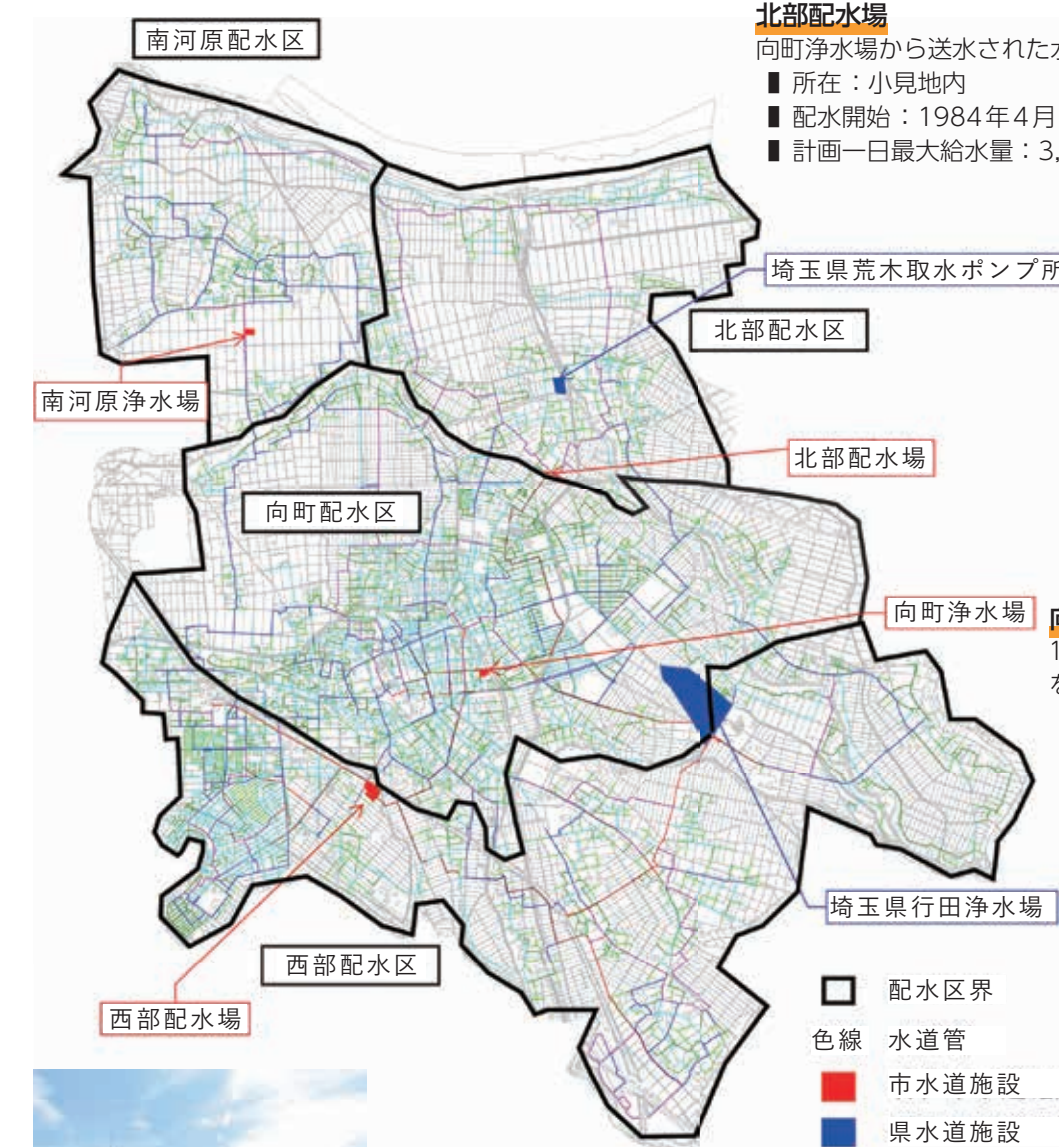


貯水 配水

北部配水場

向町浄水場から送水された水道水を配水。

- 所在：小見地内
- 配水開始：1984年4月
- 計画一日最大給水量：3,750㎥ / 日



浄水 県水 貯水 配水

向町浄水場

12カ所の水源井から汲み上げた地下水を浄水処理した水と県水を配水。

- 所在：向町地内
- 配水開始：1960年7月
- 計画浄水量：10,670㎥ / 日
- 計画一日最大給水量：32,360㎥ / 日



県水 貯水 配水

西部配水場

向町浄水場から送水された水道水と県水を配水。

- 所在：前谷地内
- 配水開始：1998年4月
- 計画一日最大給水量：17,740㎥ / 日

全部つなぐと行田市から秋田市までの距離！



市内には約560kmの水道管が布設され、各家庭に配水しています